

死亡災害ゼロ・アンダー190伊勢

令和6年
8月号

令和6年 労働災害発生状況

伊勢労働基準監督署
速報値

伊勢労働基準監督署管内（伊勢市、鳥羽市、志摩市、度会郡）において令和6年1月1日から7月31日に発生した、休業4日以上之死傷者数（新型コロナウイルス感染症に係る疾病者を除く。）は、7月末時点で当署に報告があったもので、**死亡者数は2人、休業4日以上之負傷者数は117人**となっています。

業種別では道路貨物運送業が大幅に増加しており、事故の型では転倒災害が増加しています。

現在の労働災害発生件数は、過去10年で最多であった前年同期と同程度となっています。また、7月には死亡災害が2件発生するなど、死亡者数が過去10年で最多である令和2年、平成29年の3人を超えるおそれのある状況となっています。

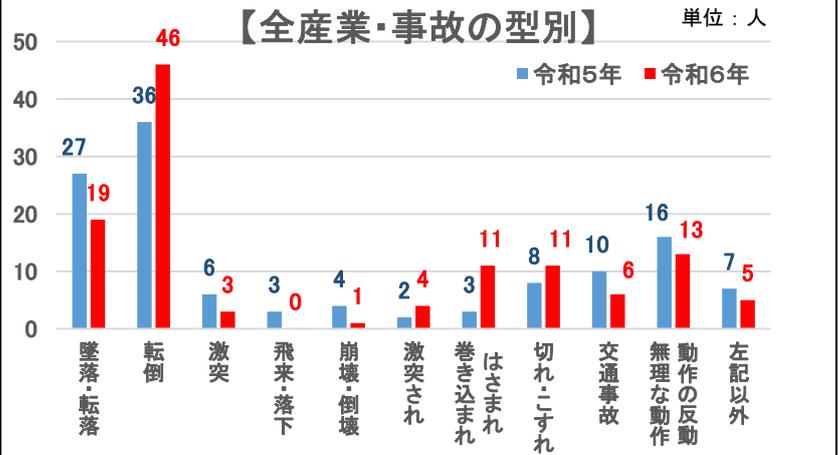
労働災害は決して他人事ではありません。昨日の作業でヒヤリとしたところはなかったか、今日の作業に危ないところがないか、不安全行動をしていないか、改めて自分の仕事を振り返ってみましょう。

【令和6年 休業4日以上之死傷災害発生状況 伊勢署】

	令和5年		令和6年		前年比	
	死亡	死傷	死亡	死傷	(死亡)	(死傷)
全業種	1	122	2	117	-5	-4.1%
製造業		22		18	-4	-18.2%
建設業	1	18	1	12	-6	-33.3%
道路貨物運送業		3		7	+4	+133.3%
林業		2		3	+1	+50.0%
小売業		18		20	+2	-11.1%
社会福祉施設		13		16	+3	-23.1%
旅館業		12		11	-1	-8.3%

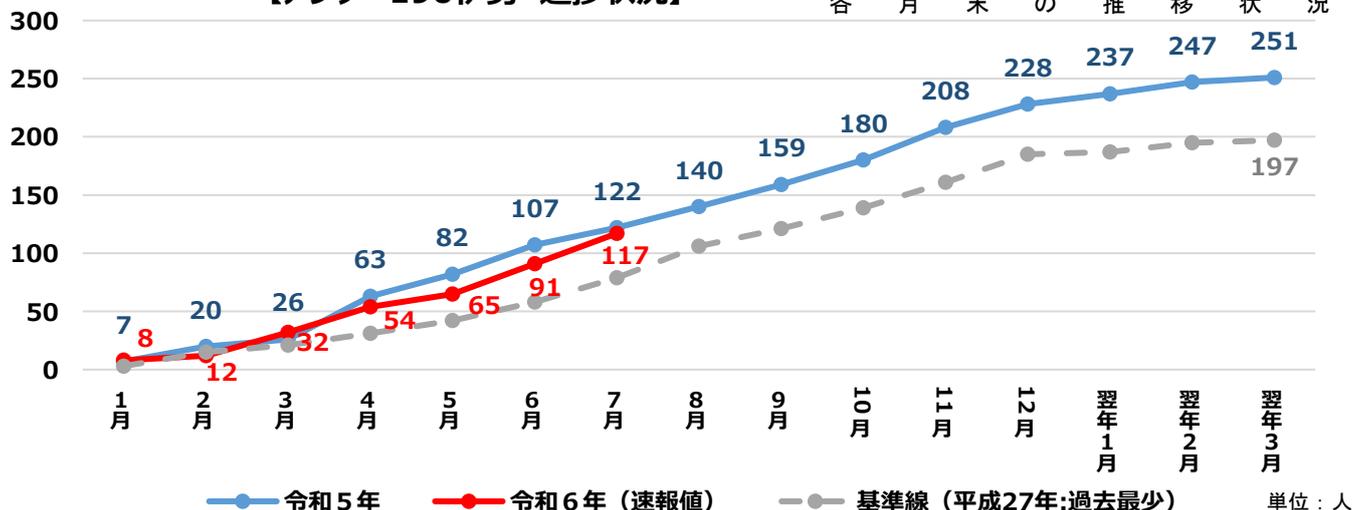
※令和6年の死亡者数は死傷者数の外数であり、死亡者・死傷者の合計は119人となります。

【全産業・事故の型別】



【アンダー190伊勢 進捗状況】

休業4日以上之死傷者数
各月末の推移状況



第75回 全国労働衛生週間

推してます みんな笑顔の 健康職場

2024年（令和6年）10月1日～7日 [準備期間：9月1日～30日]

厚生労働省では、令和6年10月1日からの1週間、全国衛生週間を実施します。



今年で75回目となる全国労働衛生週間は、労働者の健康管理や職場環境の改善など、労働衛生に関する国民の意識を高め、職場での自主的な活動を促して労働者の健康を確保することなどを目的に、昭和25年から毎年さまざまな取り組みを展開しています。

労働者の健康をめぐる状況は、気象変動や高齢化の影響を受け、熱中症や腰痛などの業務上疾病の発生が増加しているほか、精神障害による労災認定件数が令和5年度には過去最多の883件となるなどメンタルヘルス対策の強化も求められています。また、化学物質等による重大な遅発性の職業性疾病も後を絶ちません。

そのため、伊勢労働基準監督署では以下の研修会を予定しています。詳細が決定次第、ホームページ「伊勢労働基準監督署からのお知らせ」で周知いたします。

- ・令和6年10月 社会福祉施設の災害防止研修会（転倒災害や腰痛災害防止等）
- ・令和6年11月 メンタルヘルス対策研修会（近年増加しているメンタルヘルス対策等）
- ・令和7年2月 化学物質対策研修会（令和6年4月施行の「新たな化学物質管理」等）

そのほか、FC. ISE-SHIMA(非特定営利法人FC. ISE-SHIMA)と連携し、伊勢志摩地域の労働災害防止に関する各種の周知啓発活動を行っています。YouTubeには、転倒・腰痛防止体操を掲載しておりますので、ぜひご活用ください。

動画はこちらから
「FC. ISE-SHIMA公式YouTube」
<https://www.youtube.com/@fc.ise-shima8525>



令和6年 職場の健康診断実施強化月間

～9月は職場の健康診断実施強化月間です！～

労働安全衛生法では、事業者に定期的な各種健康診断の実施を義務付けているのに加え、健康診断の結果をもとに、有所見者に対する医師からの意見聴取（「通常勤務可」「就業制限」「要休業」といった意見を医師から聴取するもので、労働者自身が精密検査を受けに行くようないわゆる「二次検診」とは異なります）、医師の意見を勘案した必要な事後措置の実施を義務付けています。

特に労働者50人未満の産業医選任義務のない小規模事業場では、有所見者に対する医師からの意見聴取が未実施である事例が散見されます。健康診断は、受診して終わりではありません。この機に健康診断の管理を見直し、労働者の健康管理に活用しましょう。

お問合せ先 伊勢労働基準監督署 安全衛生課
TEL 0596-28-2164

伊勢労働基準監督署からのお知らせ 検索

